

申し合わせ事項及び注意事項

■ 申し合わせ事項 基本的には『オフィシャルルールブック最新版』に則ります。

※ 重要

下記申し合わせ事項は、「ヒマラヤ主催の大会の申し合わせ事項」としてご理解ください。
お間違いの無いようにご理解をお願いいたします。

- ① 選手・監督・コーチ・塁審は全てキャップをかぶり、サングラス、時計など貴金属、装飾品は付けないでください。プレーヤーと同じと考えます。
サングラスに関しては目の病気等やむを得ない理由がある場合は事前に報告いただければ、着用可能です。この監督会議の後に申告いただけます。
大会当日の試合前にもコート長に申告願います。
- ② ソックスは**ハイソックス**で統一のものとする。**ハイソックスとはひざ下まであるソックスとする。**
監督・コーチなどベンチに入る全ての方が対象です。
- ③ 審判は最後にコートから退出します。それまでの時間をアピール権行使できる時間とします。
- ④ 選手の体調不良や怪我の早期処置を考え、**女性世話係を2人まで設置することができます。**
あくまでも応急処置・救護・給水担当で、ベンチの後方に待機、もしくは応援席から必要な時だけベンチ後方に移動し、対応することができます。
- ⑤ ベンチ入りコーチ数は最大3名です。但し、3名以下でも構いませんし、いなくても問題ございません。
- ⑥ コーチ・【塁審・記録係 合計4名】は兼務可能です。
記録係は経験ある方(記入方法の分かる方)をお願いいたします。
経験の無い方しか対応できない場合は、できる限り事前にチーム代表者様や監督様から落とし込みをお願いいたします。
記入方法マニュアルも同封しておりますので、参考にしてください。
- ⑦ 子供たちの健全育成の観点からあからさまな敬遠や時間稼ぎは監督退場のペナルティを科します。
参加する選手全員が気持ち良いと感じる大会にする為に協力願います。
「監督退場」は会場外への移動となります。
- ⑧ 没収試合という概念を無くします。
但し、没収試合に相当する案件やルール違反が生じた場合は、監督退場のペナルティは課せられます。
「監督退場」は会場外への移動となります。

■ 過去事故例

ここ最近の大会で起きた事故の情報共有をいたします。
選手の為にも再発防止の為に確実に把握するようにお願いいたします。

- ① 自チームの試合の空き時間には塁審や記録係等の役割があるが、それに参加することを怠り、試合運営に問題が生じた。
※必ず事前にチーム内の複数の人間でスケジュールを共有してください。
- ② ベンチに入る監督及びコーチの方々はキャップもしくはサンバイザーを必ず着用してください。
オフィシャルルールで記載されている内容です。

■ その他連絡事項

- ① 多目的広場は時間、アナウンスの音が聞こえにくいです。これは修正できません。
時間や場所に関しては、各自・各チームが十分に注意し、責任を持って行動して下さい。
- ② 準決勝以降は、ギャラリーが観戦できるラインを明確にします。
試合関係者以外は大会運営関係者も含め、立ち入り禁止となります。ご協力ください。